

### ごみ処理施設の行方と地域における理解

新世紀の会 竹内 靖人



つたが、地域の方々の大変さが分かっているのか。

答弁→最終的には適地を絞りこまなければならぬが、公募の趣旨をご理解いただきたい。公募して下さった地域の方々には感謝をしている。

地域事情に精通した方々の協力なくしては事業の進捗はない。今後も更なる協力をお願いすることになると思うが宜しく願いたい。

質問→公募方とはいえ、地域をまとめる事は大変なことで民間人としてできる事が限られる。ごみ処理に対する不安など、できるだけ早い機会に説明をお願いしたい。

質問→適地選定が行われているが、同じように苦勞をしながら選考からもれた地区にはどのような地域づくりがしてあげられるのか。進め方が大きく変わ

### 防災情報伝達システムの開設

公明党津山市議員 川端恵美子



市には市民に一齐に情報の伝達をする方法は何もなかった。その後、山間部の多い津山市にはどのようなものが適するのかが、調査研究を重ねてきた。この度、防災情報伝達システムの整備がされたが、高齢者対応も考えた市民の安心・安全につながるシステムとなるのか。

答弁→災害時の情報伝達手段として、携帯電話による一斉メールの配信を本年四月から開始する。高齢者など携帯電話の操作が行えない人には、津山市独自に製作した音と光による受信専用端末を整備する。災害情報、火災情報、不審者情報のメール送信を考えている。

質問→平成十年十月の集中豪雨により旧津山市は大災害を受けた。その記憶はまだまだ鮮明に残っている。当時、津山

### 「しあわせ枠予算」について

津山新屋会議 吉田 耕造



である。自主財源比率は三十九・七%から四十一・七%に上がった。内訳は税制改正により市税十二億六千万円、市有地売却で二億九千万円増額、基金繰入金十三億五千万円減。全体で二億四千万円の増額であるが、市有地売却収入を除く自主財源は十八年度より約四千七百万円減額である。どのような九千万円を予算化したのか。

答弁→総合計画の実行に配慮し、事業の選択と集中によりメリハリのある予算に努めた。その一環として、自主財源は減額となっているが、行革効果の一部を財源に「しあわせ枠」を設け、特別に予算を配分した。

質問→「しあわせ枠予算」は行革によって得られた一部を特別枠として配分し、メリハリのある予算編成に努めた、四事業に配分した桑山市長肝いり予算

### 津山市所有のパソコン台数はいくつ?

津山再生クラブ 齋藤 弘道



おり、津山市も、経費削減のため、オープンソースのOSを考えた方が良いのではないかと。

答弁→市役所のPC使用台数は千二百台、学校関係では千六百台を使用しており合計二千八百台である。IT関連の経費は、契約委託料など合計三億一千八百万円となっている。オープンソースのOSは、システム開発に携わる技術者が極端に少ない。また、安定稼働を最優先すべき行政では、運用面から現時点での導入は難しいと考えている。今後はリナックスなどオープンソース導入に向けた研究を継続的に進めていく。

質問→津山市は教育現場を含め、どのくらいパソコンを所有しているのか。また、維持管理費はどのくらいか。経済産業省でもリナックスの普及を進めて